

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、28～31 台を示し、著しく高いでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の4倍。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり3kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり23kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年並み）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり68kgの水揚げで、前週の4.9倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり671kgの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり58kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

定置網----対馬西岸地区では、ヒラマサ・ケンサキイカなどが1日1統当たり18kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり256kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり67kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/6～8/7の2日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延2隻、総計108箱、1航海最高74箱、平均54箱。

スルメイカ（20～40入）66箱、ケンサキイカ（2～4立）42箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-13号 令和6年のトビウオ海況予報」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の漁海況週報は、令和6年8月23日（金）の発行になります。